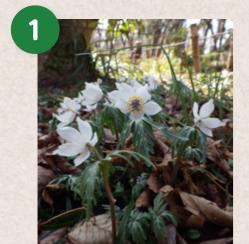
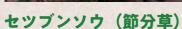
## 社ごよみ

**2月** 1月25日 264号

発行:公財)東京動物園協会 井の頭自然文化園

## 早春にいち早く目覚める草花。そして、ツバキ、名木(ホオノキ)などをご案内します。





冬の間の遮るもののない林床に届く光を利用し、いち早く花を咲かせます。 まだ数の少ない虫たちを、他の花が咲かぬ間に呼び寄せる作戦なのです。



フクジュソウ (福寿草)



フキノトウ (蕗の薹)

## ツバキ園

300 本ほどが晩秋から春にかけて咲きます。江戸時代に作られた「江戸椿」と呼ばれる品種群に含まれる約50種が植えらえています。



白菊(シラギク)



京唐子(キョウカラコ)



春曙紅(シュンショコウ)



光源氏(ヒカルゲンジ)



紅乙女 (ベニオトメ)



荒獅子 (アラジシ)

## 文ホオノ化(朴木)

0

名

木

幹周約 5m 推定樹齢 300 年以上の古木ですが、この木の一番の魅力は、樹形でしょうか。太くねじれた幹の上部に大枝が伸びる様は、思わず息を呑むほどです。







